

運営組織

理事

理事長 西川盛朗 (にしかわ もりお)



FFI ファミリービジネス・アドバイザー資格認定証保持者。ファミリービジネス学会理事。世界的なファミリービジネスであるジョンソン社の日本法人の社長、会長、グローバル本社役員を長く務め、コンシューマー(B2C)、プロフェッショナル(B2B)両ビジネスの経営を担う。

ファミリービジネスにおけるファミリー、ビジネス、オーナーシップの各システムの効果的な運営にマネージメントとして参画。企業理念策定委員会の副委員長として全世界のジョンソングループの企業理念(This We Believe)の策定に携わる。

現在ファミリービジネスのコンサルティングの会社であるヨコハマコンサルティング(株)の代表取締役会長として多くの企業に社外取締役、アドバイザー、顧問として活動を行っている。

ハーバード大学経営大学院(AMP)修了。著書「長く繁栄する同族企業(ファミリービジネス)の条件」：日本経営合理化協会、「実務者からの提言―勝ち続けるファミリービジネスの条件」他。

理事、事務局長 武井一喜 (たけい かずよし)



日本人初のFFIファミリービジネス・アドバイザー上級資格認定証保持者、FFIフェロー。慶応義塾大学経済学部卒。コロンビア大学ビジネススクール経営学修士(MBA)。経済産業省「地域経済におけるファミリービジネスに関する研究会」委員(平成21年度)。

キャラクター商品メーカーを経て家業の寝具製造卸会社に勤務。基幹業務システム設計導入、リストラプラン策定実施、新規事業立ち上げの後、4代目社長。その後IT関連の起業に参加。'03年WellSpring設立。ファミリービジネスを対象にコンサルティング・研修・執筆活動を行っている。

著書：同族経営はなぜ3代で潰れるのか?〜ファミリービジネス経営論〜」クロスメディア・パブリッシング 他

理事 階戸照雄 (しなと てるお)



日本大学大学院総合社会情報研究科、研究科長、教授。ファミリービジネス学会理事、日仏経営学会理事。大阪外国語大学(現・大阪大学)卒業後、パリ政治学院(CEP)修了、INSEAD経営学修士(MBA)、日本大学博士(国際関係)。富士銀行(現・みずほFG)勤務後(海外勤務等も含む)、朝日大学を経て2006年より現職。現在、ファミリーガバナンス論、グローバル経営戦略論等の講義を行う。

著書・論文：「ファミリー企業の現状と課題：日仏の比較から学ぶ」(単著)日仏経営学会、『オーナー企業の経営』(共著)中央経済社、『<社外取締役>のすべて』(共著)東洋経済新報社、『ファミリービジネス 最良の法則』(翻訳)ファーストプレス社他多数。資格：CFP、厚生労働大臣認定1級ファイナンシャル・プランニング技能士、米国公認会計士(US CPA)他。

理事 馬場研二 (ばば けんじ)



東京の老舗企業の社外取締役(創業115周年企業)、監査役(創業100周年企業)、ベンチャー企業の社外取締役、監査役、顧問などを受任中。サイバー大学IT総合学部教授(経営学)。

1991年米国ボストン大学で経営学修士(MBA)取得。地方銀行の外貨投資部門システム開発、外資系人事コンサルタント会社を経て、2001年から、140年以上続く著名なファミリー企業の本社経営企画部門に所属し、グループ経営戦略策定、新規事業推進、不振事業対策、人材開発などに15年間携わり、3世代目への事業承継のプロセスを間近に経験。2009年にファミリービジネスアドバイザーの必要性に気づき、2012年に日本ファミリービジネスアドバイザー協会の設立メンバーとして理事に就任。資格認定講座により同族企業の承継を支援するアドバイザー人材を育成している。2014年からサイバー大学IT総合学部の教授として、企業経営入門、起業入門など4つの講義とゼミを担当。毎学期延べ1000名以上の学生が受講している。また、2006年から(NPO)MIT-VFJの理事として、ビジネスプランコンテストの運営にも携わっている。

アドバイザー

Ivan Lansberg, Ph.D.



コロンビア大学でB.A., M.A. と Ph.Dを取得後、同大学ビジネススクールで教鞭をとる。Family Firm Institute (FFI)の創設メンバーであり、学会誌Family Business Reviewの初代編集長。

現在はノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院教授であり、Lansberg Gersick & Associatesのシニアパートナー。

Kelin E. Gersick, Ph.D.



エール大学でB.A.,ハーバード大学でPh.Dを取得。ファミリービジネス、ファミリーオフィス、ファミリー財団に調査、コンサルティングを提供するLansberg, Gersick & Associatesの共同創業者でありシニアパートナー。

Generation to Generation:(邦題:「オーナー経営の存続と継承」)の主執筆者であり、Family Business Reviewの主任共同編集者。世界30か国以上でコンサルティング、教育、研修活動を行う。

役立つうれしさ、つながる楽しさ。



経営者と専門家の共創

FBAAは、ファミリービジネスの永続的發展を支援する、

ファミリービジネスアドバイザーの養成と交流を目指す

日本で初めての協会です。

FBAAとは

FBAA®は、ファミリービジネスの持続的発展を支援し、地域社会の発展に寄与することを目的とする非営利団体です。信頼されるファミリービジネス専門家ネットワークの核として、ファミリービジネス・コンサルタントやファミリービジネス・アドバイザー【注】の専門性確立により、ファミリービジネスの繁栄に貢献します。

【注】FFI (Family Firm Institute)は、ファミリービジネス・コンサルタントは「元の専門分野を超えてファミリービジネスにコンサルティングを行う者」、ファミリー ビジネス・アドバイザーは、「元の専門分野の範囲内でファミリービジネスに向けた特別のアドバイスを行う者」と定義しています。

FBAAが目指すもの

ファミリービジネス・アドバイザーの専門性確立、日本経済の根幹をなすファミリービジネスの永続的発展支援を通し、豊かな地域社会の実現をめざします。

ファミリービジネスとは？ 一般的に同族企業と呼ばれる経営の形態を指しますが、法人税法で定義されている同族企業とは別に、創業者一族などのある特定のファミリーが、会社の株式及び経営のいずれか又は双方を実質的に支配している、あるいは会社の経営方針に大きな影響力を持つなどの企業をファミリービジネスと呼びます。大企業、中小企業を問わず、ウォルマート、カーギル、トヨタ、サントリーなどをはじめ世界中に多数存在し、世界のGDPの70%~90%はファミリービジネスが作り出していると言われています。

専門性の確立

ファミリービジネスにおいては、客観的に経営を分析できる外部アドバイザーが必要不可欠です。ビジネスにファミリーの要素が加わるため、経営者は、より複雑なステークホルダーをマネージしなければなりません。一步間違えば業績の低下を引き起こしますが、適切にマネージすれば、非ファミリービジネスよりも強い企業になれる要素をもっています。そのため、従来の一般企業向けコンサルティングに代わり、ファミリービジネスの発展と永続に特化した新しいコンサルティングが、今、求められています。

新しいコンサルティング手法とは、ファミリービジネスを構成する3つの要素、「ファミリー」という愛情・感情・平等に重点を置いたシステム、「ビジネス」という成果・効率に重点を置いたシステム、「オーナーシップ」という投資に対してリターンを求めるシステムを有機的に結び付け、1つのシステムとしてとらえるものです。

ファミリービジネスという複雑なシステムに、通り一遍のソリューションはありません。それぞれ事情が異なるファミリービジネスにおける3つの要素を1つのシステムとして効果的に統合し、長期的に社会の信頼と支持を得ながら企業を永続させなければなりません。

FBAATMは、最適な方法を提言し助言するファミリービジネス・コンサルタントやアドバイザーの専門性確立を通し、ファミリービジネスの発展に貢献します。

ファミリービジネスへの取り組み

この30年、世界ではファミリービジネスに関する研究が進み、その評価が大きく変わりつつあります。日本をはじめとする世界の主要国で、ファミリービジネスは全企業の60%~90%を占め、各国の経済で主要な役割を担っています。欧米では、ファミリービジネス研究室を設置するビジネススクールが80校にもものぼり、学生、経営者、プロフェッショナルに向けた教育が盛んに行われています。

米国では、Family Business Institute (FFI) をはじめとするいくつかの機関で、ファミリービジネスに関するコンサルティングの研究、実践が盛んに行われ、大きな成果をあげつつあります。ファミリービジネスに特化したコンサルティングの有用性も認識されるようになりました。

日本でも、2008年秋にファミリービジネス学会が設立され、2009年春には、いくつかの大学院でファミリービジネスに関する講義が始まりました。その結果、古い企業形態で不祥事の温床というネガティブなイメージを持たれがちであった同族経営も、持続性・耐久性への着目により、認識が大きく変わりつつあります。しかし、日本は長寿企業大国でありながら、経営ノウハウの研究とその共有においてはまだまだ遅れをとっており、ファミリービジネス・コンサルティングの分野については、ほとんど着手されていないのが現状です。少子高齢化による市場の縮小によりビジネス環境が著しく変化中、わが国の多くのファミリービジネスが、生き残りの厳しい現実と直面しています。

FBAATMは、日本における長寿企業の研究、欧米のファミリービジネス研究、FFI (Family Business Institute)のコンサルティング論など、ファミリービジネスにおける最先端の研究と情報を融合させた方法論により、クライアントのファミリービジネス発展に貢献できるプロフェッショナル集団形成の核となることをめざします。

活動内容

日本ファミリービジネスアドバイザー協会は、ファミリービジネスの持続的発展を支援し、ファミリービジネス・コンサルタント、ファミリービジネス・アドバイザーの専門性の確立によって、ファミリービジネスの持続的発展を支援するさまざまな活動を行います。

FBAAファミリービジネスアドバイザー資格認定制度

- 登録メンバーに対し資格認定講座を設けています
- 本講座を受講し、パスすればファミリービジネスへ適切な助言を行うための次の各種フレームワークを習得できます
- FBAA認定アドバイザーの名称、ロゴを使用できます
- 協会にクライアントからの要請がある場合、FBAA認定アドバイザーを推薦することがあります



〈認定フレームワーク〉

- ①FBの特殊性の理解と対策
- ②ファミリーガバナンスの理解と構築法
- ③事業継承の条件整備／世代交代の準備
- ④次世代経営陣の育成方法
- ⑤企業理念、社是、社訓の再構築
- ⑥時代の変化に適應する仕組み作り
- ⑦ファミリーシステムへのアプローチ法、留意点
- ⑧ファミリーオフィスの諸機能と構築法

〈プログラムの目標〉

- 参加者のバックグラウンドの分野からファミリービジネス・システム全体に対するコンサルティングへと視野を広げる
- ファミリーの本質、構造、力学を理解し、ビジネスにどのように影響するかを理解する
- 一般的なファミリービジネスのジレンマを理解、診断する方法を学ぶ
- 一般的なファミリービジネスにおける課題を解決する方法と技術を学ぶ
- ファミリービジネスシステム全体を評価、診断し、処方を出すことができる
- ファミリービジネスコンサルタントが持つべき倫理を理解する

年次総会

- 広くファミリービジネス経営者、アドバイザー、研究者を対象に、啓蒙を目的としたイベントを開催し、ファミリービジネスの社会的認知を高める。
- ファミリービジネスの経営者、アドバイザー、コンサルタント、研究者によるプレゼンテーションの機会を提供する。
- ネットワーキングの場を提供する。



セミナー、ワークショップ

- メンバーを対象に、ファミリービジネスに関する見識を深め、ネットワーキングによって専門家集団を育成・形成する。
- 専門家による講演会、勉強会を実施する。



他の組織とのコラボレーション

- 内外のファミリービジネスに関する研究機関、組織とのコラボレーションを通して、相互の研鑽を高める。

PR活動

- ステークホルダーやメディアを通じて、ファミリービジネスオーナーや一般社会に対してファミリービジネスに関する情報を幅広く提供する。

FBAAメンバーポリシー及び特典

〈メンバーポリシー〉

- Confidentiality** 機密情報は一切他言せず墓場まで持っていく
- Trust** 信頼と支持
- Selective** 会の目的に賛同する選ばれたメンバーに限定
- Ownership** 「自分の協会」の意識
- Participation** 自主的、積極的な参加
- Sharing** 経験、知識、情報を共に学ぶ
- Enrolment** 仲間を広げる
- High Ethical Standard** 高い道徳性、倫理性を保持する

〈特典〉

- ①定例セミナーに参加できます
- ②欧米、日本の最新の事例、研究の情報が入手できます (WEB)
- ③メンバー相互の情報交換会、発表会に参加できます
- ④年次総会に参加できます
- ⑤資格認定の受験資格が得られます